

ございます。

次に、女性職員の事務服でございますが、最近の個性的で色彩豊かなファッション感覚を反映し、民間におきましても、企業イメージを高めるために、さまざまな取り組みがなされておるところでございます。

本府の女性職員の事務服につきましては、職員の意見を集約いたしました上で、昭和五十年に現在のデザインに改めたところでございます。その後、これを改めるべく検討作業を行ったこともございましたが、改善に至らず既に十四年を経過しておりますことはお示しのとおりでございますので、より働きやすくファッションブルなものに改めてまいることが必要かと感じております。これを新しく制定するに当たりましては、女性職員の参加を求め、またデザイナーの方々の御意見も伺いながら、お示しのようにアンケート調査もぜひ実施いたしまして、お話のように、女性職員が生き生きと誇りを持って働けるような事務服にいたしてまいりたいと存じます。

織維の町、ファッションの町と言われる大阪にふさわしい制服であると同時に、またそれを一方的に押しつけることのないよう広くコンセンサスの得られるものを求めてまいりたいと考えております。

○副議長（川村 三郎君）生活文化部長谷川秀善君。

（生活文化部長谷川秀善君登壇）

○生活文化部長（谷川 秀善君）音楽情報提供機能等の整備についてお答えをいたします。

お示しのように、大阪におきましては、吹奏楽や合唱を初めとして、音楽活動への府民の参加が大変活発に行われております。こうした活動をさらに促進してまいりますためには、すぐれた指導者の確保や情報提供の一層の充実が重要であると存じます。

このため、生涯学習事業の一環として、音楽団員がこれまで長年にわたり蓄積してまいりました豊かな知識と経験を生かして、中高校生などへの管楽器の演奏指導や、アマチュア楽団等に対する助言指導を初め、演奏会場等に関する音楽情報の提供を行うことによりまして、府民の音楽活動を積極的に支援してまいりたいと存じます。

次に、国際花と緑の博覧会に本府が出展いたしますパビリオンいちょう館につきましては、平成二年四月の開幕に向けて現在鋭意諸準備を進めているところでございます。

館内のガイド役である女子職員は、いちょう館の運営に大変重要な役割を果たしますので、その名称の決定につきましては、先生お示しの趣旨をも十分配慮しながら、国際博覧会

のガイド役としてふさわしい新しいネーミングを検討いたしたいと考えております。

また、いちょう館に従事する職員のユニフォームにつきましては、府民を代表して内外のお客様をお迎えするという意味からも、我が国はもとより世界的にも広く活躍をされておられる著名な専門家の御協力を得ながら、いちょう館のイメージアップにつながるようなすばらしいものにいたしたいと存じております。

さらに、各パビリオンの女性ガイドのユニフォーム姿を花の万博開幕までのプレイベントの場で披露してはどうかとの御提案は、花の万博を盛り上げる上で有効な方策であると存じますので、花の万博協会を初め関係団体と協議しながら実現に向けて努力してまいりたいと存じます。

○副議長（川村 三郎君）平野クニ子君。

（平野クニ子君登壇）

○平野クニ子君 たいだいま知事並びに関係理事者の（発言する者あり）今やじが飛んでいましたように、大変前向きな御答弁を頂きました。ありがとうございます。

特に私お願いを申し上げたいと思えますのは、本府の女子職員のこの事務服が十数年間手をつけられなかった、恐らくその理由は何らかの形であるのでしょうか。しかし、私は、今

どきと申しますか、十四年間同じデザインの服を着ていましたよとおっしゃる方がいらしたらお目にかかりたい。また、ネクタイも十四年間同じものをしていましたよという男性がいらしたら、またこれお目にかかりたい。こんな思いでいっぱいでございます。

そして、外部の専門家の御意見を参考として改善していくとの具体的な御答弁を頂きました。どうぞ来年の花と緑の国際博覧会の開催をきっかけといたしまして、本府は世界都市大阪を目指して名実ともに脱皮をしていかなければならないし、飛躍をしていかなければならないと思います。そういう意味では避けられない課題であるのではないかと思います。

どうぞ職員の見解、そして専門家の御意見を十分にお取り入れ頂いて、自信を持って大胆な改善をして頂きますよう心からお願いを申し上げます、私の質問を終わらせて頂きます。御清聴ありがとうございました。（拍手）

○副議長（川村 三郎君）この際十分間休憩いたします。

午後三時四分休憩

◇

午後三時三十分再開

○議長（松室 猛君）これより休憩前に引き続き質疑質問を続行いたします。